

小さき花の園 SWC

看護師募集



常に医療が必要な利用者の命を守り

その人らしい人生を支える看護

小さき花の園紹介

小さき花の園は重度の肢体・知的障害を持った重症心身障害児者の方々が生活している施設です。
常時医療が必要な利用者の命を守り、その人らしい人生を支える生活の場となっています

昭和45年に設立された県内でも歴史のある施設です

- 障害者総合支援法に基づく療養介護事業病棟（52床）
- 児童福祉法に基づく医療型障害児入所施設（20床）
- 在宅で生活している方々をサポートする通所事業（デイサービス）
- 予約制の外来



病院と違い基本的に入所されている方との関わりが長くなるので、長期間を見据えた看護の提供ができます

また、重い障害を抱えていてもその人らしく豊かに生活できるように様々な職種の職員が在籍しています。医師・薬剤師・理学療法士・作業療法士・管理栄養士・看護師・介護福祉士・保育士・児童指導員・事務員など、それぞれの専門性を生かしてすべての方により良い生活の提供を心がけています

小さき花の園の組織

より良い生活を送れるように



神奈川県立鎌倉養護学校の
養護学校訪問教室を併設



看護部長あいさつ

「鎌倉療育医療センター 小さき花の園」の活動の中心には、「人間の尊重」という理念があります。この理念に則って、看護部では心身ともに重いハンディキャップを背負って懸命に生きる利用者を尊重し、寄り添い「こころを聴く」看護の提供を目指しています。小さき花の園の看護師は、①利用者の健康を守る、②個々の成長発達を支援する、③ライフステージに合わせた生活支援を行う、④家族を支える、⑤利用者の意思決定の懸け橋になる等、その人らしい人生が送れるための看護を大切にしています。そのため「高い倫理観」を持ち、「専門的な知識・技術に支えられた看護実践」が行える人材の育成に努めています。



当園では、「医療」と「福祉」を必要とし、自らニーズを伝えることが難しい利用者の生活を豊かにするために、多職種が協働（信頼関係に基づく協力関係）し、話し合うことを大切にしています。多職種間の価値観の違いは時に新たな気づきとなり、利用者へのより良いサービスの提供につながります。看護師は多職種チームの懸け橋となり、利用者の豊かな生活を支えていけるよう努めます。

看護部長 西角一恵

看護部理念

- 私たちは心身ともに重いハンディキャップを背負って懸命に生きる利用者を尊重し、利用者に寄り添い「こころを聴く」看護サービスを提供します。
- 私たちは深い愛と倫理観のもと誠実に看護実践をいたします。

看護部基本方針

- 利用者を全人的にとらえ、安全・安心な質の高い看護を提供します。
- 多職種との相互信頼と協働のもとに個人にとってより良い生活が送れることを目指します。
- 高い倫理観と専門的な知識・技術に支えられた優れた看護実践者を育成します。
- 互いの強み・専門性を活用し、明るく働きやすい職場づくりをします。
- 組織の健全な経営に貢献します。

看護部教育プログラム

- 聖テレジア会共通のラダーがあり、一人一人に応じた指導を法人・施設内研修を通して行っていきます。



病棟紹介

第1病棟 看護師長 大橋



第1病棟は重症心身障害者の療養介護事業所の52床で成人の方が入居されています。医療と看護、療育、リハビリ、栄養など多職種のスタッフが連携して、利用者の生活を支えています。

看護師は利用者の体調を整えて、日中活動に参加できるよう健康管理をしています。運動機能や呼吸機能の弱い方が多いため、健康管理は非常に大切になります。ご自分で思いを口に出せませんから、私たちが小さな変化に気付かなければなりません。日中の療育活動に参加できるように体調を整えるのが看護師の役割です。

療育スタッフは、毎月季節に合った活動を企画しています。お花見ドライブやお祭り、クリスマスなどの活動を提供させていただいています。ここの皆さんは重い障害を抱えているのですが、笑顔がとても素敵です。言葉を発することはできませんが、喜怒哀楽を表情や声で教えてください。

これからも利用者みなさまの健康を維持し笑顔を引き出せるよう、スタッフ皆で協働し豊かな生活を送るために支援をしていきたいと思っております。

第2病棟 看護師長 松原

第2病棟は医療型障害児入所施設の病棟で長期利用者、レスパイトの計20床の病棟です。年齢は、3歳から成人まで幅広く、医療的ケアは人工呼吸器、経管栄養、気管切開等のケアとなります。病棟看護師の役割として、排痰ケアなどの呼吸ケアを行い利用者が毎日健康に過ごせるようにしています。また、吸引や経管栄養など医療的ケアだけでなく、呼吸器の利用者も個別の外出や行事、日中活動など、日々楽しく過ごせるよう療育部と協力し日常生活の支援をしています。学生に関しては、鎌倉支援学校の訪問教室もあるので学ぶ権利が守られるよう学校への送り出しもしています。また、家族が自信を持って医療ケアができるよう家族指導も行い家族とのかかわりを大事にしています。



第2病棟 看護師長代理

私の働いている病棟は重度の障害を持った利用者様が多いですが、障害をその方の個性として捉え、個々に合った看護ケアを提供できるように心がけています。「笑顔を引き出す看護」は重症心身看護の醍醐味で、利用者様の笑顔に私たちスタッフも元気をいただいています。



スヌーズレンルーム



先輩看護師より



既卒入職看護師

最初は慣れないことも多く大変なことばかりでしたが、利用者さんと行事に参加してうれしそうな表情を見たり、感情表出の難しい利用者さんの小さな表情の変化に気づいたりするととてもやりがいを感じます。また、利用者さんとじっくり向き合うことができる職場です。



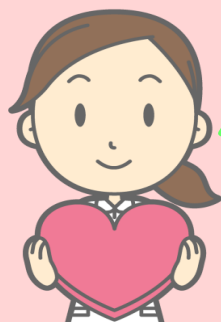
ママさん看護師

急な家族の体調不良ではもちろんのこと、子どもの学校行事や家庭のイベントなどの休みが取りやすいです。お互い様だという雰囲気があるため、子育て世代の人たちだけでなく、どの年代でもワーク・ライフバランスを実現しやすい職場環境です。



ベテラン看護師

入職した時には、まだ小さくて幼かった子ども達が今では成人したり、大きく成長され、その成長を1番近くで見守ることができたことが何よりの喜びです。子ども達の可愛い笑顔が日々の原動力になっています。



福利厚生

職員食堂・談話室



- 年間休日：125日
(週休2日制、年末年始休暇、リフレッシュ休暇)
- 賞与：あり 年2回(計3.2月分) ※2024年度実績
- 診療費給付制度(関連病院での診療費用一部負担)
- 直接応募職員支援金制度(有料紹介所を利用せずに応募採用時に支給)

重症心身障害児者の方々の看護に興味を持たれた方
就職はともかく、施設の見学をしたい方
いつでも見学受け付けています。まずは連絡してみてください。



TEL 0467-31-6703 (代表)

【郵便】248-0033 【住所】神奈川県鎌倉市腰越1丁目2-1

「看護師直接応募職員支援金制度」始めました

「看護師直接応募職員支援金制度」とは、紹介会社等を使用せず自身による直接応募で採用された看護師に対し、支援金を支給します。長く勤務すれば総額 300,000 円支給されます。

